

高由金属株式会社

試験機械用の高精度な 長尺部品が得意

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンリーワン技術
- メイドインジャパン
- 試作可
小ロット
- 量産対応



加工精度は円筒部品なら内径公差 4μmを実現

業務内容

産学連携は採算度外視

直径600mm、長さ3000mmまでの長尺部品の加工を得意とし、NC旋盤、マシニングセンターによる切削加工をはじめ、溶接、組み立て加工にも対応する。試験機械用部品の比率が高く、エンドユーザーは機械、半導体、エネルギー、液晶などさまざまな業界に広がる。マイクロメートルレベルの微細加工技術も持っており、京都大学医学部と小鳥の脳の動きを計測する「マイクロドライブ」を共同開発した経験もある。研究者間の紹介でさまざまな共同開発案件が持ち込まれるが、高由章社長は「産学連携は採算を度外視して取り組む」と話す。

大学などの共同研究はすぐに利益を生まなくても、自社の技術や信頼性を高めるのに役立つため積極的に取り組んでいる。

強み 高精度の長尺部品を 1週間で納入

「新しいことにチャレンジする」が会社のモットーで、高精度、高品質の難易度の高い仕事を進んで引き受ける。高由社長は「機械のリース代がまかなえるなら受注価格が多少厳しくても、設備を導入して引き受ける」という。その理由は「技術的なレベルアッ



3000mmまでの長尺部品の精密加工に対応する機械設備

プを実現できるうえ、新しい仕事も付いてくるから」だ。加工精度は円筒部品なら内径公差4μmを出せる。角度割りだし機能を付けたマシニングセンタリーを使い、長尺部品の側面や端面に精度の高い後加工を施せるのも強み。機械加工から溶接まで社内に対応し、初めて加工する部品でも1週間程度で納入できる。

海外展開

将来を見据えて ベトナム工場稼働

海外市場の需要増に対応して顧客の海外調達が進んでいるため、平成25年1月からベトナム・ビンズン省で工場を稼働した。現在は調達ルートの構築などを準備している段階だが、一部の部品はベトナムで生産し、国内で後加工して納品を始めている。すでに単月度の収支を黒字化できる見通しも付いている。海外展開ははずれ、国内の仕事量が減って、受注価格も厳しくなることが予想されるため、早めに手を打っておく意味がある。

今後の展望

「軸数軸重計」の 需要に期待

国内工場では現在、生産体制の効率化を進めている。単品や少量部品の短期対応を強化するために表面処理などの後加工を一部内製化できないか検討中。また、ベンチャー企業からの依頼で製造を引き受けていた「軸数軸重計」という新しい計測機械の納入が平成25年中から一部始まる。今後、需要が順調に増えれば、生産能力の増強も必要になる。新事業がうまく芽吹けば、さらなる飛躍が期待できる。

COMPANY PROFILE

高由金属株式会社

大阪25

ISO 9001

当社の歴史

昭和40年に高島由雄氏が船舶機装部品の加工業で創業した。昭和63年に島津製作所との取引が始まり、業容を拡大した。平成25年にベトナムに工場を稼働し、海外生産体制を構築した。

1mm以下の微細加工から3000mmの比較的大型部品の高精度加工までを可能にします。

代表取締役 高由 章さん



■主な事業内容
3,000mmまでの長尺部品を中心とする機械部品の加工

■主な取引先(納入先)
試験機械メーカー、産業機械メーカー、衛生用品製造用機械メーカー

住所 / 〒581-0844
八尾市福栄町
1-19-1
TEL / 072-999-0448
FAX / 072-999-9482
創業 / 昭和40年9月
設立 / 昭和55年9月
資本金 / 2,000万円
従業員 / 29名

<http://www.takayosi.co.jp/>